



い～ねだより

2025年10月1日

認定 NPO 法人じゃんけんぽん

企業主導型保育 い～ね保育園

基本理念

『たくましく生きる力』

保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切にする心を育てます』

『基本的生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域の人とのかかわりやふれあいを大切に、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

10月のテーマ

『戸外の気持ちよさを味わおう』

『なりきって遊ぶ!!』

「先生〇〇になって～」 「ぼくは(わたしは)〇〇になるから！」

こんな会話から、最近い～ね保育園ではよく『ごっこ遊び』がはじまります。

『ごっこ遊び』とは、子どもが他の誰かや何かになりきって、現実の出来事や想像上の世界を表現する遊びです。

男の子に人気『消防士ごっこ』

誰かの「火事だー!!」を合図に、ちっぴっこ消防士が出動します。外遊び用のオレンジ帽子をかぶり、手にはサランラップの芯(ホースの代わり)を持つことも。部屋のあっちこっちに起こる火事を、次から次へと消して行きます。その時、子どもたちが火を消す真剣な眼差し、次の火事をみつけた時のハッとした表情を見ていると、この子たちの目には、はっきり火事の場面が見えているのかな～と思わされると同時にすこし羨ましい気もします。

みんなで協力『泥棒ごっこ』

子ども達は警察官。架空の泥棒が、い～ね保育園におもちゃを盗みにきます。子ども達は泥棒が入ってきそうな玄関やベランダの窓を見張るのですが、子どもなりに泥棒の特徴を考えている子もいて『泥棒はね、大きくて青い服を着てるんだよ』と教えてくれる子もいます。そして玄関や窓に罠を仕掛ける子もいるんですよ(笑) いざ泥棒が部屋に入って来てみんなで協力して探すことことに！ここで保育士がちょっぴり物語を広げるお手伝い。『あれ？泥棒の足跡かな？』と投げかけると、子ども達は床の木の節を足跡に見立てたのです。その足跡をみんなでたどって泥棒を追い詰めていきます。

この他にも『恐竜ごっこ』『医者さんごっこ』『美容院ごっこ』などを日々楽しんでいます。『ごっこ遊び』を通して子どもは想像力・思考力・コミュニケーション能力など多様な能力を育むことが出来ます。

お金も道具も必要なし！身体1つあれば出来る遊びなので、お父さん・お母さんもたまには童心に戻って遊ぶのもいいかもしれませんよ。ポイントは『なりきる』です！なりきって遊びに加わる中で、お子さんの新しい一面に出会えるかもしれません。